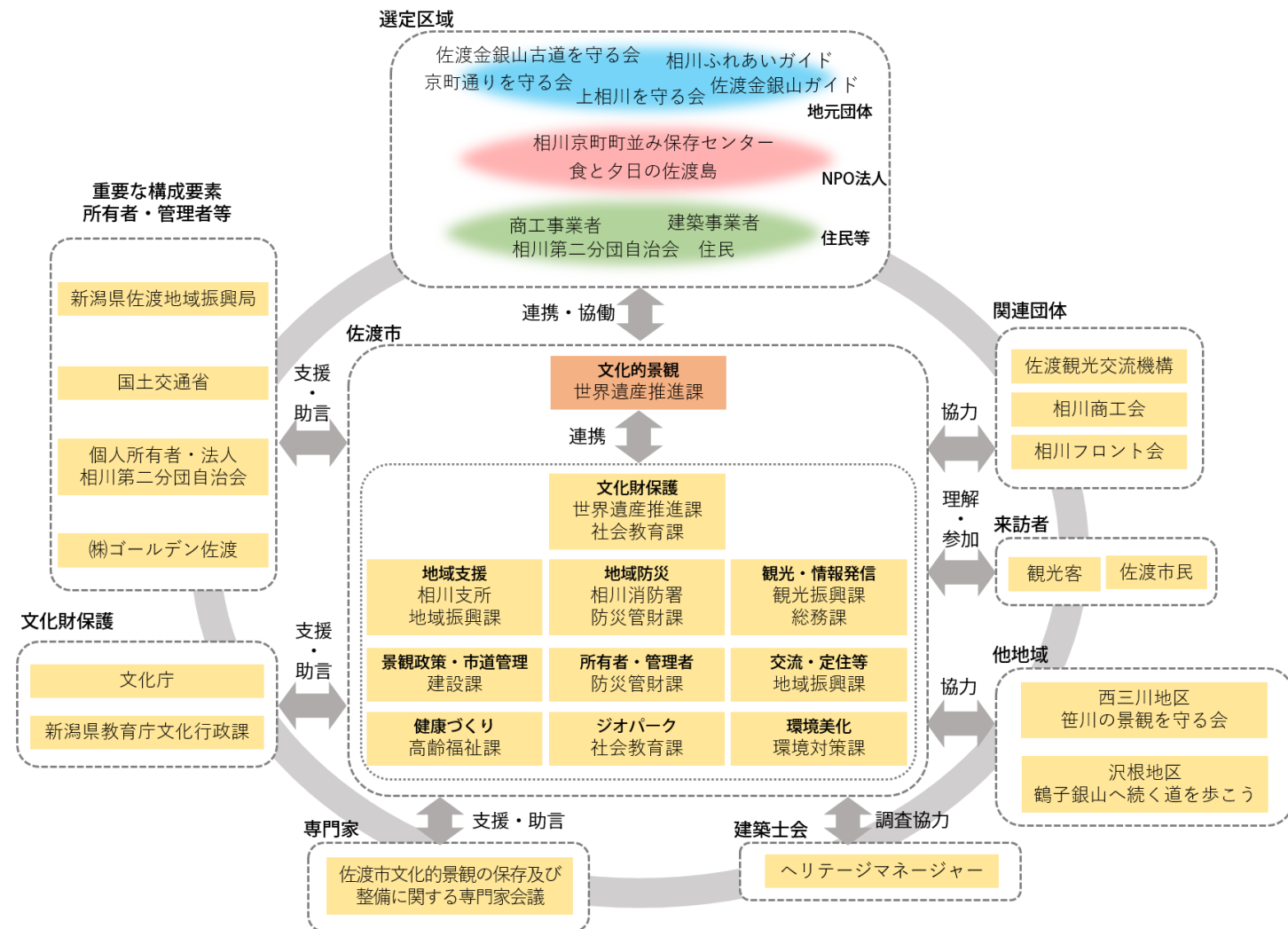


事業の推進

佐渡市世界遺産推進課を中心とする佐渡市の関係部署が、地域住民をはじめ関係機関等と連携、協力しながら推進していく。その他、文化庁や専門家、重要な構成要素の所有者・管理者、地元団体等、住民等との連携を協働を図っていく。



計画の策定経緯

本計画の策定にあたっては、有識者によって構成される「佐渡市文化的景観の保存及び整備に関する専門家会議」における審議、文化庁及び新潟県からの助言、住民との意見交換やワークショップ等、様々な方々にご協力いただきました。



住民の皆様との意見交換の様子

お問い合わせ先

佐渡市世界遺産推進課

〒952-1562 新潟県佐渡市相川三町目浜町18番地1 電話：0259-74-2215

整備計画書
概要版

計画の基本的事項

1. 計画の目的

本計画は、保存計画で定めた整備の方針を踏まえ、重要文化的景観の保存・活用に係る整備を適切に推進することを目的としている。

2. 計画の期間と範囲

本計画の期間は、令和2年度から同11年度までの10年とし、9年目を目途に次期整備計画の検討・策定を行う。
本計画の対象範囲は、重要文化的景観「佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観」の範囲である。

文化的景観の概要

佐渡では、先史時代より人が住み、他地域との交流があった。この間、多くの流人や文化人、職能集団等が佐渡を訪れ、佐渡に信仰や文化、技術等を伝えた。
特に、相川では、鉱山開発によって国内各地から数多くの人々が集まり、様々な風俗、慣習や芸能等が伝わったことで、佐渡独特の文化が創り上げられた。また、江戸時代に成立した集落は、大部分が大字として継承され、現在の佐渡市の行政区の基本単位となっている。

文化的景観の現状と課題

1. 文化的景観の魅力

山間部の鉱山エリアに展開する大規模な鉱脈群と、海と山に挟まれた狭隘な地形を巧みに利用して形成された海成段丘上及び海岸部の町場エリアに、近世から現在に至る各時代の痕跡が混在している

鉱山開発の黎明期から休山までの各時代の特色が有形の要素として現存しており、鉱山と鉱山町を一体として散策することで、その変遷を理解できる

近世から近現代の歴史的建造物等が多く残る町のなかで、人々の生活の営みが続いている

盛期に比べて祭礼等の機会は減少しているが、町内ごとにその役割や芸能の内容が異なり、このことが地域のアイデンティティとして人々をつなぐとともに、祭礼や芸能を通じた住民と島内外の人々の交流も育まれている

現在も、観光を中心に多くの人々が訪れ、地域の人々と交流する様子がみられる。



2. 文化的景観の整備にかかる課題

課題（1）
魅力を裏付ける
「文化的景観の価値」の継承

- ・歴史的建造物等の修理・修景
- ・祭礼行事・民俗芸能等の継承
- ・防火対策の充実

課題（2）
魅力を磨く

- ・鉱山施設や史跡・歴史的建造物等の魅力増進
- ・来訪者の受入れ態勢の充実

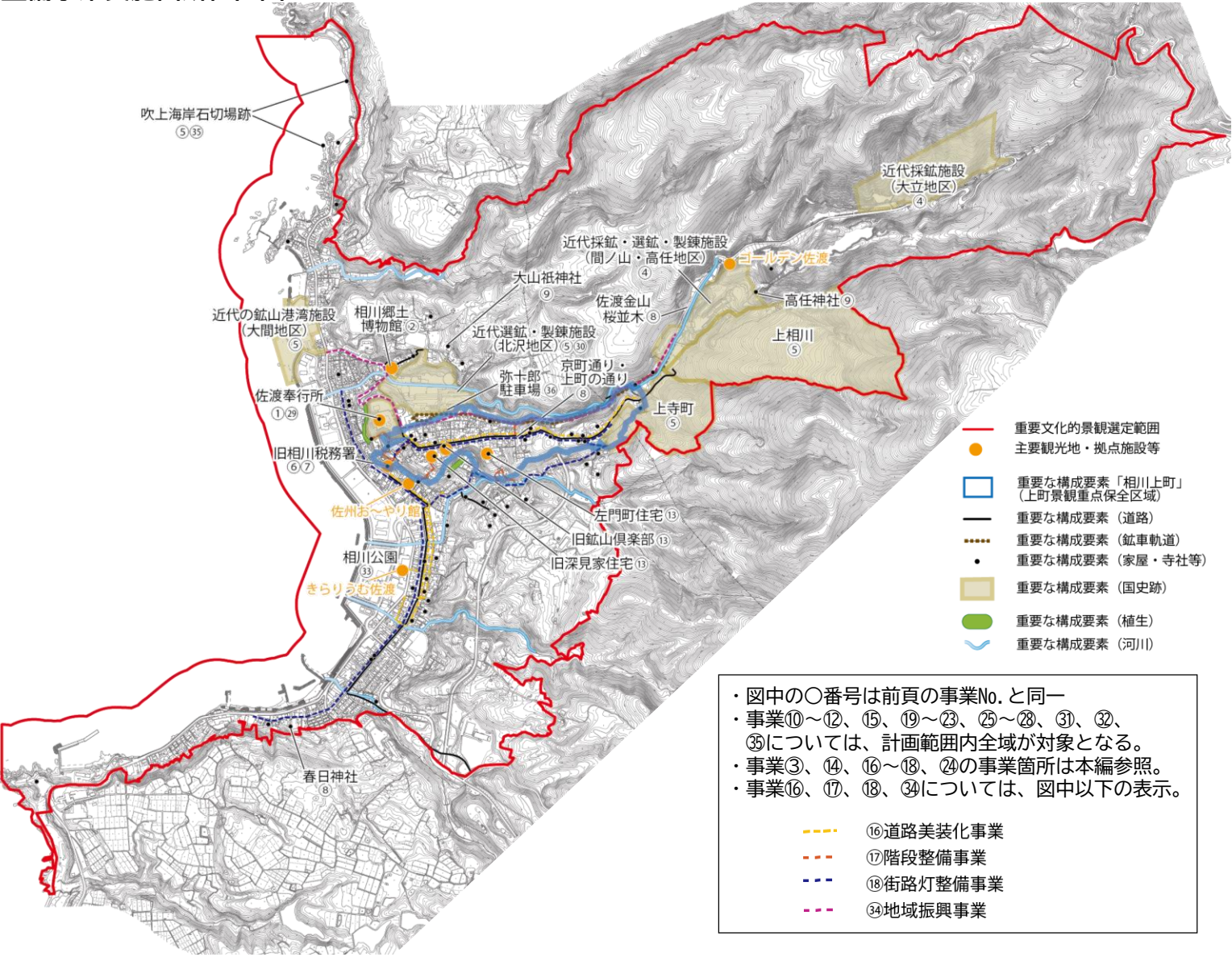
課題（3）
地域住民が主体となった
まちづくりの推進

No	事業名	概 要
⑪	相川地区公民館講座	芸能文化を知る講座や地元民謡伝承講座の開催
⑫	商店街等活性化事業	地元商工業者への雇用創出、店舗改装費等の補助
⑬	拠点施設整備事業	旧深見家住宅、旧鉱山倶楽部等の修理及び活用
⑭	町並み景観整備支援事業	歴史的建造物の外観及び内部修理への補助
⑮	空き家等対策事業	空家バンク登録物件の改修費、購入費等の補助
⑯	道路美装化事業	来訪者散策ルート上の市道の美装化や側溝整備
⑰	階段整備事業	老朽化した階段7箇所の補修や手摺り等の整備
⑱	街路灯整備事業	町場エリアの散策ルート上の防犯灯を兼ねた街路灯整備
⑲	老朽危険廃屋対策事業	老朽危険廃屋の撤去及び安全対策等の補助
⑳	消防設備整備事業	耐水性貯水槽や消火栓補助器具等の整備
㉑	地域防災力向上支援事業	防災に係る講演会や訓練の実施、消防設備計画の検討
㉒	自主防災組織支援事業	自主防災組織への機材購入、訓練実施等の補助
㉓	まちあるきによる文化財等散策事業	健康づくりを兼ねた文化財等を巡る散策コースの検討
㉔	車両侵入抑止サイン設置事業	京町通りへの来訪者車両の侵入抑止サインの設置
㉕	歴史文化資源情報発信事業	多言語化や通信機器に対応したサイン等の整備
㉖	来訪者散策マナー周知事業	パトロールを強化し、不法投棄抑止看板を設置
㉗	観光パンフレット多言語化事業	インバウンドに対応した観光パンフレットの作成
㉘	文化財保存活用情報発信事業	文化財の整備や地域活動等の情報発信紙の刊行
㉙	文化施設への映像体験設備導入事業	佐渡奉行所跡への映像体験設備の導入
㉚	北沢浮遊選鉱場ライトアップ事業	観光シーズンでの北沢浮遊選鉱場跡のライトアップ
㉛	観光ガイド育成・活用事業	外国語ガイドを含む市民ガイドの育成と活用
㉜	レンタサイクル整備事業	来訪者が利用可能な電動アシスト自転車の導入
㉝	来訪者用トイレ改修事業	相川公園内のトイレの洋式化
㉞	地域振興事業	世界遺産構成資産への車両誘導標識や防護柵等の整備
㉟	渋滞緩和対策事業	渋滞予測調査及びそれに基づく駐車場整備等の実施
㊱	弥十郎駐車場再整備事業	弥十郎駐車場の拡張や公園等の整備



2. 事業の内容

整備事業実施箇所位置図



No	事業名	概要
①	佐渡奉行所整備事業	佐渡奉行所の屋根・外壁の改修工事及び展示設備更新
②	相川郷土博物館整備事業	相川郷土博物館の耐震化を含めた修理工事
③	重要文化的景観整備事業	所有者等による重要な構成要素の修理費の補助
④	旧佐渡鉱山採鉱施設保存活用整備事業	大立堅坑櫓、大立堅坑捲揚機室、高任粗砕場の整備
⑤	史跡佐渡金銀山遺跡保存活用整備事業	遺構のモニタリングや来訪者用のサイン設置等の整備
⑥	旧相川税務署保存修理事業	旧相川税務署の耐震補強を含めた整備
⑦	旧相川税務署活用事業	住民の買物支援や来訪者との交流施設等として活用
⑧	伝統文化資源を活用した観光振興イベント支援事業	春日神社新能、金山桜並木ライトアップ、「宵乃舞」の支援
⑨	地域行事等支援事業	鉱山祭及び関連する友好都市交流の支援
⑩	歴史文化啓発グッズ開発事業	金銀山に関連した啓発グッズ、サービスの開発の促進

整備の基本理念と基本方針

1. 基本理念

相川における文化的景観の整備は、その魅力の増進を通じて地域住民が自らのまちの魅力を再確認し、誇りと愛着を持つとともに、島外の多くの人々が佐渡の魅力を知り、訪れることで、佐渡市全体を活性化させていくことをねらいとするものである。文化的景観をとりまく環境が大きく変化する現代においても、これまで先人たちが積み重ねてきた「地域の人々による、地域の歴史・文化の醸成、継承」と「地域外から訪れた人々との交流」の両輪を高めていくことを認識し、整備の基本理念を以下の通り定める。

相川金銀山の盛衰とともに400年以上にわたり積み重ねられた
鉱山町の暮らしを受け継ぎ、地域の誇りとなるよう、
地域住民と来訪者をともに惹きつける魅力ある景観を創出する

2. 基本方針

1. 相川の魅力を支える

—文化的景観の重要な構成要素を中心に相川の景観の魅力を高める—

幅広い地域住民の関与、行政や民間組織等による支援等、現在の文化的景観に関わる主体が一丸となって、その維持管理に関わることが求められる。

相川の文化的景観を特徴づける建造物、町並み、道・坂・石垣等、地形、植生、といった諸要素について、その特性と価値を形成する真正性を損なうことが無いよう、現状変更行為等に対する景観配慮や、整備の具体的方策を検討しながら適切に保全していく。

2. 相川の活力を支える

—相川固有の豊富な地域資源を活かし、未来へと受け継ぐ—

地域住民の集いの場や、まちづくりの議論が展開される機会を創出するとともに、住民の生活利便性の向上を目指して、生活インフラの充実、向上を図る。

地元商店街等の活性化に資する事業等に対して支援を行い、文化的景観の整備事業を通じて地域を活性化する。伝承活動に対する支援や、豊富な地域資源の価値や魅力の情報発信を進め、住民の郷土愛の醸成や交流人口の拡大等を図っていく。空き家に対しては、所有者、地域住民、行政等の複数の主体が協力して有効な活用を模索する。

3. 相川の安心な暮らしを支える

—狭隘な地形を巧みに利用した相川特有の生活空間を火災から守る—

本計画においては喫緊の課題である防火対策に関し、個々の立地条件や住民構成等をふまえた消防設備の配備の検討を進める。防災訓練等を通じて火災予防の意識を高め、互助や共助による早期発見、初期消火、延焼防止の迅速な対応が図れるよう取り組んでいく。

魅力を伝え、活力を支える努力に防災の要素を取込み、かつ防災対策に歴史文化への配慮を位置付けながら地域防災計画の展開を図る。防災組織の構築や火災予防のための日常的な取組みを推進する。

4. 相川での交流を支える

—鉱山と一体となった相川の町並みへ来訪者を誘い、地域との交流を育む—

駐車場や公衆トイレの整備をはじめ、道路や階段、散策ルート的美装化等、来訪者の快適な散策環境の整備に取り組んでいく。

文化財を活かした散策コースの設定や、サイン整備の充実、観光ガイドの育成等、相川ならではの観光体験を提供する仕掛けづくりを進め、来訪者と地域住民の交流を推進する。

整備計画

1. 施策体系

文化的景観の概要

佐渡市の歴史

- 先史・古代・中世 -
先史時代から、佐渡は、人々の居住の場であり、また他地域との交流が行われる場であった

- 近世 -
日本屈指の鉱山都市の成立とともに、佐渡を訪れ、暮らすようになった武家、技術者、町人の文化が混然一体となって、佐渡独特の文化が形成された

- 近代・現代 -
様々な人々との交流によって、鉱山開発やまちづくりを推進してきた。休山後も観光地として多くの人々を迎えている

文化的景観の価値

- 本質的価値 -
400年にわたる鉱山開発によって形成された鉱山町の重層的な景観

自然的特性
山と海に挟まれた狭隘な地形の巧みな利用

歴史的特性
400年にわたって継承された鉱山町の都市計画

生活・生業上の特性
鉱山を支えた人々の生活・生業が映し出された町並み

文化的景観の魅力と課題

文化的景観の魅力

○鉱山開発の黎明期から休山までの各時代の特色が有形の要素として現存しており、鉱山と鉱山町を一体として回遊することで、鉱山町の変遷を理解できる

○近世から近現代の歴史的建造物等が多く残るまちのなかで、今も人々が生活を営んでいる

○町内ごとに祭礼における役割や芸能の内容が異なり、このことが地域のアイデンティティとして今も人々をつなぐとともに、祭礼や芸能を通じた住民と島内外の人々の交流が育まれている

○現在も観光を中心に多くの人々が訪れ、地域の人々と交流する

文化的景観の整備にかかる課題

- 魅力を裏付ける「文化的景観の価値」の継承 -

○歴史的建造物等の修理・修景
○祭礼行事・民俗芸能等の継承
○防火対策の充実

- 魅力を磨く -

○鉱山施設や史跡、歴史的建造物等の魅力増進
○来訪者の受入態勢の充実

- 地域住民が主体となったまちづくりの推進 -

基本理念

相川金銀山の盛衰とともに400年以上にわたり積み重ねられた鉱山町の暮らしを受け継ぎ、地域の誇りとなるよう、地域住民と来訪者とともに惹きつける魅力ある景観を創出する

基本方針

1. 相川の魅力を支える
— 文化的景観の重要な構成要素を中心に相川の景観の魅力を高める —

2. 相川の活力を支える
— 相川固有の豊富な地域資源を活かし、未来へと受け継ぐ —

3. 相川の安心な暮らしを支える
— 狭隘な地形を巧みに利用した相川特有の生活空間を火災から守る —

4. 相川での交流を支える
— 鉱山と一体となった相川の町並みへ来訪者を誘い、地域との交流を育む —

基本施策

1-1 構成要素の特徴・特性に応じた修理

1-2 構成要素の有効活用

2-1 地域住民による歴史文化の継承への支援

2-2 地域コミュニティの場の創出

2-3 生活インフラの充実

3-1 立地条件等を踏まえた消防設備の整備

3-2 住民の防災意識の向上と自主防災組織の育成・強化

4-1 来訪者の散策体験の向上

4-2 来訪者の快適な散策環境の整備

4-3 駐車場の整備

個別事業

- ① 佐渡奉行所整備事業
- ② 相川郷土博物館整備事業
- ③ 重要文化的景観整備事業
- ④ 旧佐渡鉱山採鉱施設保存活用整備事業
- ⑤ 史跡佐渡金銀山遺跡保存活用整備事業
- ⑥ 旧相川税務署保存修理事業
- ⑭ 町並み景観整備支援事業
- ⑮ 空き家等対策事業

- ③ 重要文化的景観整備事業
- ⑤ 史跡佐渡金銀山遺跡保存活用整備事業
- ⑦ 旧相川税務署活用事業
- ⑭ 町並み景観整備支援事業
- ⑮ 空き家等対策事業

- ⑧ 伝統文化資源を活用した観光振興イベント支援事業
- ⑨ 地域行事等支援事業
- ⑩ 歴史文化啓発グッズ開発事業
- ⑪ 相川地区公民館講座
- ⑫ 商店街等活性化事業
- ⑬ 拠点施設整備事業
- ⑭ 町並み景観整備支援事業
- ⑮ 空き家等対策事業
- ⑯ 道路美装化事業
- ⑰ 階段整備事業
- ⑱ 街路灯整備事業
- ⑲ 老朽危険廃屋対策事業

- ⑳ 消防設備整備事業
- ㉑ 地域防災力向上支援事業
- ㉒ 自主防災組織支援事業

- ⑩ 歴史文化啓発グッズ開発事業
- ㉓ まちあるきによる文化財等散策事業
- ㉔ 車両侵入抑止サイン設置事業
- ㉕ 歴史文化資源情報発信事業
- ㉖ 来訪者散策マナー周知事業
- ㉗ 観光パンフレット多言語化事業
- ㉘ 文化財保存活用情報発信事業
- ㉙ 文化施設への映像体験設備導入事業
- ㉚ 北沢浮遊選鉱場ライトアップ事業
- ㉛ 観光ガイド育成活用事業

- ⑯ 道路美装化事業
- ⑰ 階段整備事業
- ⑱ 街路灯整備事業
- ㉜ レンタサイクル整備事業
- ㉝ 来訪者用トイレ改修事業
- ㉞ 地域振興事業

- ㉝ 渋滞緩和対策事業
- ㉞ 弥十郎駐車場再整備事業